



12/17 第13回四国中央市綱引大会



土居総合体育館（アリーナ土居）で四国中央市綱引大会が開催されました。今年、40チーム413人が参加し、勝利を目指して熱い戦いを繰り広げました。

選手らは、掛け声に合わせて一斉に綱を引き合い、勝負が決まった後は、相手選手とハイタッチをして健闘をたたえ合っていました。

12/18 土居高校情報科学部作成のビジネスプランが地域活性化コンテストで全国入賞



土居高校の情報科学部が作成したビジネスプランが、日本政策金融公庫主催の地域活性化コンテストで全国入賞し、同校の校長室で表彰式が行われました。このプランは、水引を活用したもので「地方創生☆政策アイデアコンテスト2017」で四国1位など、そのほかにもたくさんの賞を受賞しています。

12/18 金生川ラバーズによるリーフレット及び鮎釣り漁注意喚起看板贈呈式



自然保護を目的に活動する民間のボランティア団体の金生川ラバーズ（井上百代代表）から金生川の生態系を紹介するリーフレット3万部や鮎釣り漁注意喚起看板2つが寄贈されました。なお、リーフレットは市内全小・中・高校、市内公共施設などに配布されます。

12/18 伊予土居ライオンズクラブ 青少年育成講演会



土居高校体育館で、52歳から登山を始め、56歳で世界最高峰のエベレスト登頂に成功した木元正均さんを講師に迎え講演会が開催されました。木元さんは生徒たちに感謝する気持ちを持つ事の大切さをメッセージとして送り、全校生徒と参加した関係者は熱心に耳を傾けていました。

12/22 交通安全母の会と三島西中学校による交通安全啓発活動



フジ三島店で四国中央市交通安全母の会（西川康子会長）と三島西中学校の生徒による交通安全啓発活動が行われました。

参加した生徒16人は、水引でできた手づくりの交通安全祈願のお守りやチラシを来店客に手渡し、交通安全を呼びかけていました。

1/1 翠波高原 初日の出会



初日の出会が翠波高原で開催されました。これは、コスモス会（菰田典明会長）が毎年開催しているもので、初日の出会開催後、嶺南支所で祝賀式も行われました。当日は、雲が厚く御来光は拝めませんでしたが、祝賀式には100人を超える参加者があり、振舞われたしし鍋などに舌鼓を打ち新年を祝いました。





1/2 霧の森 新年餅つき大会



新宮町の霧の森で餅つき大会が行われました。これは観光客などに、昔ながらの杵と臼での餅つきを体験してもらおうと、新宮観光協会と青空市かほり、霧の森が共催で行っているものです。この日は天候に恵まれ、訪れた人たちは振る舞われたぜんざいやつきたてのお餅をおいしそうに味わっていました。

1/6 第62回新春紙初市



ホテルグランフォーレで新春紙初市が開催されました。これは、株式会社紙業会館が毎年開催しているもので、今年は、製紙業など過去最多の74社215人が参加しました。売上高もこれまでの最高となる64億800万円に上り、会場内では、商談が成立するたびに手締め音が景気よく鳴り響いていました。

1/7 みしま児童センター どんど焼き



みしま児童センターで恒例のどんど焼きが開催されました。これは持ち寄ったお正月のしめ縄などを燃やし、一年間の無病息災を願うものとして毎年行われています。この日は、穏やかな天候のもと火がつけられ、組み上げられた竹の破裂音を響かせながら、勢いよく燃え上がっていました。

1/4 四国中央市新年交歓会



ホテルグランフォーレで四国中央市新年交歓会が開催されました。

毎年開催されている年始の恒例行事に、今年は市内の企業などから約400人が出席し、市や企業の発展を祈ってあいさつを交わすとともに、歓談するなどして新年の門出を祝いました。

1/6 立石美津子講演会



土居文化会館（ユウホール）で行われた講演会では、自身も自閉症児の親である立石美津子さんから、完璧な子育てではなくテキトーな子育ての極意についての話がありました。

約100人の参加者は、親の価値観を押し付けない子育てについて理解を深めていました。

1/8 親子ふれあい^{たこ}凧あげ大会



伊予三島運動公園体育館で市愛護班連絡協議会（石黒忠則会長）による親子ふれあい^{たこ}凧あげ大会が開催されました。

幼稚園・保育園児や小学生とその保護者、約400人が参加し、親子で協力しながら凧を作り、体育館内で高く揚げて楽しんでいました。

1/9 保育園や幼稚園に木馬を寄贈



教育長室で、NPO 法人倫理生活指導センター（井上富男会長）から、市内の保育園や幼稚園に7基の木馬が寄贈されました。今回の木馬は、同センターが実施している間伐事業で発生した間伐材で製作したもので、昨年11月の産業祭で展示し、好評だったため、子どもたちに喜んでもらいたいとの思いから贈呈されました。

1/14 新春やまじっこマラソン大会



関川河川敷ふるさと広場で新春やまじっこマラソン大会が開催されました。今年で31回目となる同大会には市内外から1,292人が参加し、距離や年齢、性別に応じて部門別で健脚を競いました。ジョギングの部では、親子が一緒に走る姿も見られ、参加者は気持ちのよい汗を流していました。

1/14 紙のまち新春競書大会



伊予三島運動公園体育館で、四国中央市紙のまち新春競書大会が開催されました。大会には、市内のほか三好市と観音寺市などの小学3年生から中学3年生の236人が参加しました。また、参加者が書道パフォーマンスも体験できるアトラクションが行われ、体験した参加者は戸惑いながらも楽しんでいました。

1/14 三島高等学校芸術発表会・情報デザイン卒業制作展



1月12日から15日の間、福祉会館で三島高等学校芸術発表会2018・第23回情報デザイン卒業制作展が開催されました。また、14日（日）には交流イベントがあり、茶道部によるお茶席や「えひめ子ども観光大使」の講座も同時開催され、第二期生の子ども観光大使らが、同校書道部と交流しました。

「瀬戸内海 鑑賞」

市長のひとりごと



四国中央市長
篠原 実

見慣れた風景も時として、季節、天候、時間、自分のコンディションによって、新鮮なものとして、目に飛び込んで来ることがある。

自分の状態以外は、天地自然のものであるが、自分の心だけは把握のしようがない。

森羅万象も不変であっても、目から脳へと移動するときには、別の脳が働き、違った新鮮なものとして映ることがある。

そんな中、松山での年賀挨拶まわりから帰る途中、土居入野パーキングに寄った。

ちょうど薄暮の幽玄のころであったが、瀬戸内海が伊吹島を中心に、まさに内海として、大きな湖のごとく目に映ってきた。

東に向けていくと、満月が正面にある。きれいなお月さんである。

頭の中は、ぼんやりとしてまどろんでいる。すでに今年一年が始まって進行している。立ち止まることは許されない。

でも、「もう少し、このままでいさせて下さい！」と、背骨の後ろからぼやいている。

あと3分もすれば、料金所である。



ほなっ?